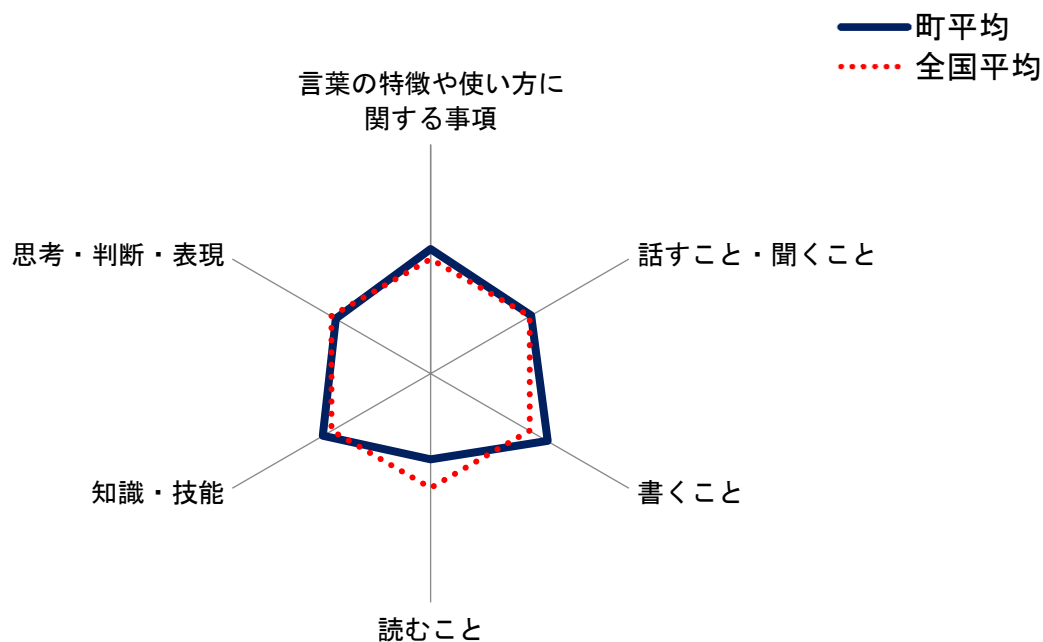
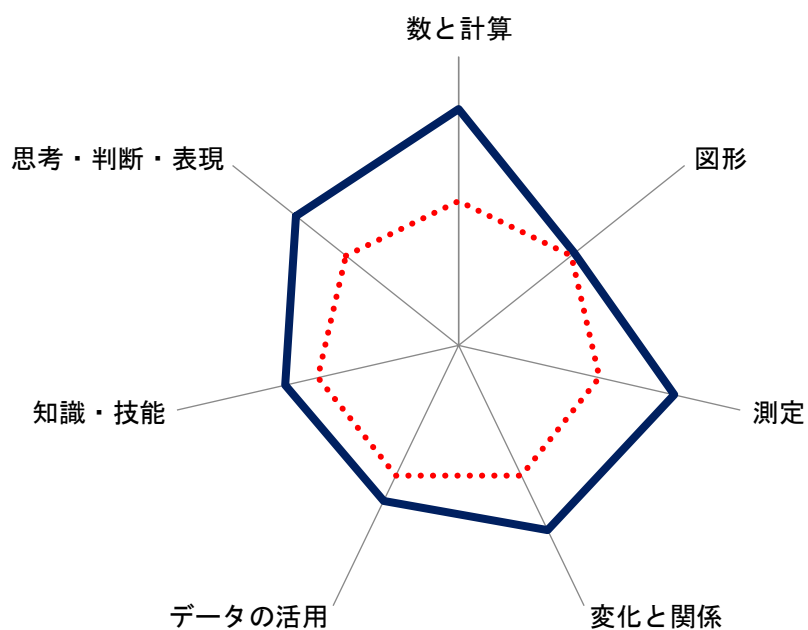


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

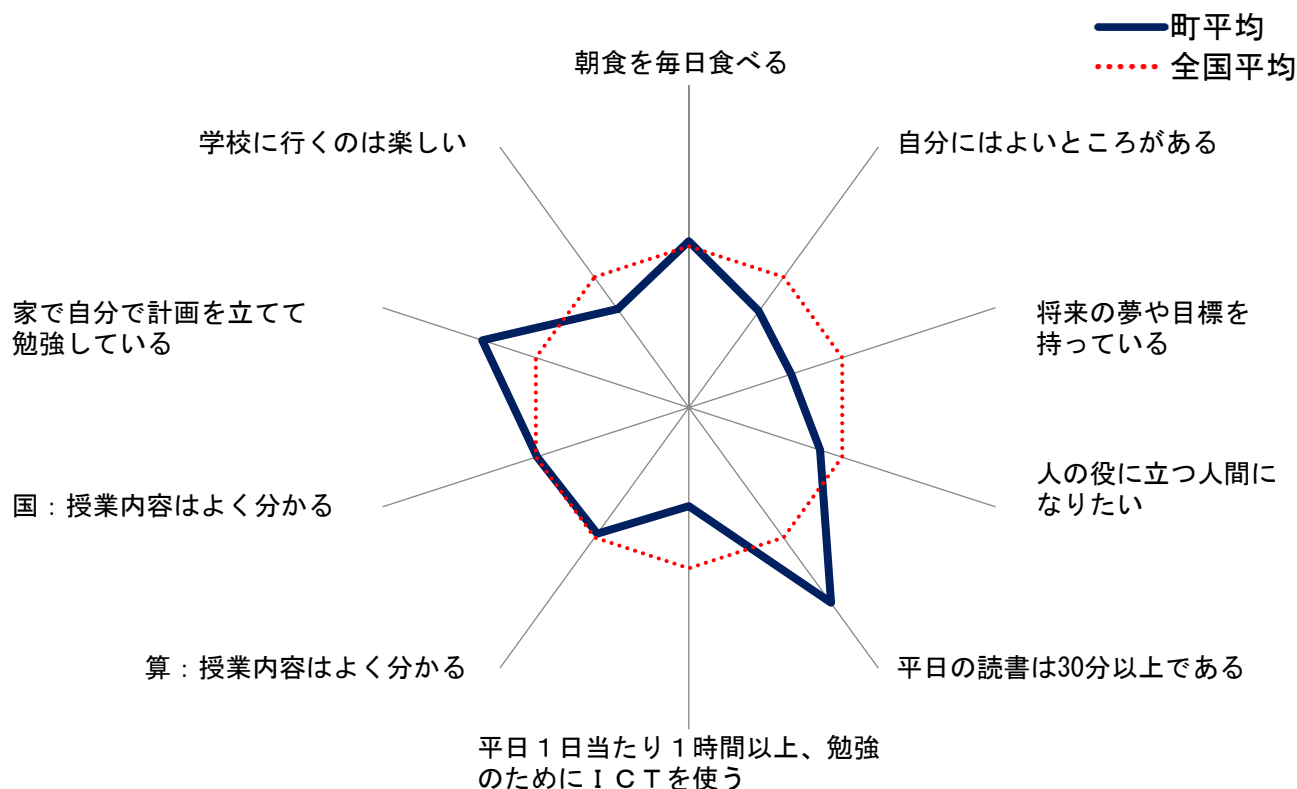
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は全ての項目が全国平均を上回っている。特に「数と計算」「測定」「変化と関係」の項目は全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。国語は多くの項目が全国平均を上回っているが、「読むこと」の項目は全国平均と比べて低く、学習内容の定着に課題が見られる。今後、児童一人一人の結果を詳細に分析し、課題を洗い出すことにより、実態に応じたきめ細かな指導に向けた授業改善に取り組むことが望まれる。

児童質問紙調査では、前回の調査において課題であった「平日の読書は30分以上である」の項目が改善しており、全国平均を大きく上回っており、町立図書館のデジタル図書の活用などによる読書活動の充実を図ってきた成果がうかがえる。一方、前回全国平均を上回っていた「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」の項目が今回、下回る結果となっており、今後、児童一人一人を大切に、自己肯定感を高める教育活動をより一層推進するとともに、これまで以上に、将来を見据えたキャリア教育の充実に、学校と家庭、地域が一体となって取り組むことが望まれる。